

■ 工事によるお客さまへのご迷惑を最小限とするための取組み

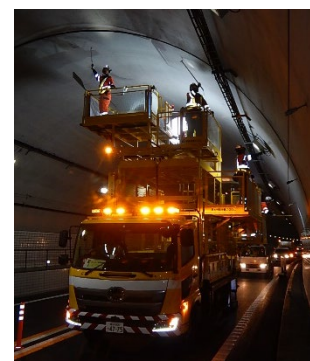
○i-MOVEMENTによる工事の効率化

最新の点検機械（E-マルチ点検車）を活用し、作業の省人化および点検の効率化を図り、工事時間帯の短縮をおこなっています。

※E-マルチ点検車

1台（従前は3台程度）で側壁からトンネルセンターまでの範囲の点検が可能となり、作業時間の短縮が図れ、点検の効率化が図れる。

総発売元：西日本高速道路エンジニアリング中国(株)



■ i-MOVEMENT「次世代技術を活用した革新的な高速道路保全マネジメント」

人口減少、社会インフラの老朽化、お客さまニーズの多様化、事業量拡大に伴う労働力不足などに対し、IoTやビッグデータ、AI、RPA※など新しい技術を活用した事業運営により、グループ全体の生産性や高度化を飛躍的に向上させ、お客さまの安全を何よりも優先する、より付加価値の高い安心・快適な高速道路空間の提供に努めます。

※Robotic Process Automation



■ 高速道路のご利用にご活用いただける各種情報のご案内

(1) 交通規制のご案内

- ポスター、チラシ、横断幕、立看板などで事前にお知らせします。
- NEXCO 中日本公式 WEB サイト内において、工事規制情報を確認いただけます。
<https://www.c-nexco.co.jp/construction/>

(2) お出かけ前に入手できる道路交通情報

- 日本道路交通情報センターの道路交通情報
WEB サイト（道路交通情報 Now!）（<http://www.jartic.or.jp/>）や電話で道路交通情報をご確認いただけ入手できます。
電話番号 全国統一番号 050-3369-6666（携帯短縮ダイヤル「#8011」）
※全国どこからでも、最寄の情報センターに接続します。
- i Highway 中日本（アイハイウェイ中日本）
全国の高速道路交通情報を携帯電話の WEB サイトを利用して、マップや文字でご確認いただけます。また、通行止めの発生または解除した際にメールでお知らせする「マイルート機能」などをご利用いただけます。



<https://www.c-ihighway.jp/>

■ ハイウェイテレホン

リアルタイムの主要高速道路情報（5分更新）を、お電話で24時間ご確認いただけます。

携帯電話から「#8162 [はい、無事（帰る）]」におかけいただくと、その場所から最も近い地域の高速道路情報を音声でご確認いただけます。

固定電話からは「#8162」をご利用になれません。固定電話からは、以下のハイウェイテレホンをご利用ください。

静岡局	054 (288) 1620	八王子局	042 (692) 1620
浜松局	053 (435) 1620	甲府局	055 (275) 1620
富士局	0545 (51) 1620	諏訪局	0266 (57) 1620

また、音声によるハイウェイテレホンと併せて携帯電話のWEBサイトでご確認いただける、「目で見えるハイウェイテレホン」もご活用ください。

<http://c-nexco.highway-telephone.jp/main/>



(3) 高速道路上で入手できる道路交通情報

- 道路交通情報板
- ハイウェイラジオ（1620kHz）
- ハイウェイ情報ターミナル（サービスエリア（SA）・パーキングエリア（PA）に設置）
- VICS（VICS対応ナビゲーションなどで、道路交通情報をご確認いただけます）
- 本工事専用簡易情報版

(4) その他

- 道路緊急ダイヤル（#9910）

高速道路をご利用中に「故障車」や「落下物」、「道路の損傷」などを見つけたら、『#9910』道路緊急ダイヤル（通話料無料）にお電話ください。

■ お願い

(1) ゆとりをもった高速道路のご利用を

工事期間中は、渋滞や迂回により通常より所要時間が多くかかるおそれがあります。ゆとりをもった計画を立てていただき、お出かけ前には最新の交通情報を確認のうえ、ご利用いただきますようお願いいたします。

また、天候や作業の進捗などにより工事期間を変更する場合があります。情報板や立看板などでお伝えしてまいります。ご利用の際はお手数をおかけしますが、事前に通行止めや規制情報をご確認くださいようお願いいたします。

(2) 渋滞末尾での追突事故にご注意を

渋滞時には、渋滞の車列の中や渋滞後尾での追突事故のおそれがあります。渋滞末尾に近づいた際にはハザードランプを点灯し、後続車に合図するなどして、追突事故の防止に心掛けてください。



(3) 全席シートベルトの着用を

高速道路上の事故では、シートベルトを着用していない乗員が、衝突の反動で車の外に投げ出されて死亡する場合があります。

運転席と助手席だけではなく、後部座席も含め必ず全席シートベルトの着用をお願いいたします（2008年6月1日より道路交通法が改正され、後部座席のシートベルトの着用が義務付けられました）。



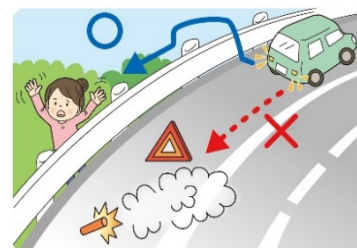
(4) 高速道路上の停止車両や、車外に出ている人にご注意ください！

渋滞や故障、事故などにより停止した車両に後続の車両が追突する事故や、故障や事故などの様子を確認するため車外に出ている人がはねられる事故が多発しています。

(5) 高速道路上で停止した場合は

事故や故障などにより万が一高速道路上に停止してしまった場合は、ハザードランプを点灯するとともに、発炎筒・停止表示器材を車の後方に無理のない範囲で設置し、後続車へ合図してください（設置する際は車線から離れ、ガードレールなどの防護柵より外側の安全な場所を通過して移動してください）。

また、車内や道路上にとどまるのは大変危険ですので、運転者も同乗者も全員、通行車両や足元に十分に注意し、ガードレールなどの防護柵より外側の安全な場所へ避難してください。避難後は、道路緊急ダイヤル（#9910）や110番、非常電話などで通報をお願いいたします。



(6) 高速道路の逆走にご注意を

行き先や出口間違いをした際の U ターンなどにより、高速道路を逆走した車両が関係する重大事故が発生しています。

万が一、逆走車両を発見した場合は、料金所や SA・PA などの安全な場所から、110 番で通報をお願いします。

逆走車の情報を見聞きした場合は、速度を落とし、十分な車間距離をとって、前方車両の動向を注視してください。逆走車は追い越し車線を走行する傾向があります。

高速道路をご利用になる際には、標識や路面標示をご確認いただき、指定された方向への走行をお願いいたします。

また、逆走をしてしまった場合には周囲をご確認のうえハザードランプを点灯して停止し、安全な場所から速やかに 110 番や非常電話で通報をお願いします。



※「故障車」や「落下物」・「道路の破損」などを見つけたら道路緊急ダイヤル（#9910）にて通報願います。

目的のインターチェンジを行き過ぎてしまった場合は、高速道路上でバックや U ターン（転回）はせず、そのまま走行し、次のインターチェンジで降りてください。インターチェンジ出口では料金所スタッフがいるレーンをご利用いただき、料金所スタッフにお申し出ください。目的のインターチェンジまでお戻りいただけるようご案内しますので、料金所スタッフの指示に従ってください。その際の通行料金は当初流入インターチェンジから目的のインターチェンジまでの通行料金となります。

※インターチェンジの構造などによっては対応できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

(7) 落下物にご注意ください！

落下物の責任は落とした人にあります。出発前や SA・PA などでの休憩時には、車両の点検をおこない、荷物を積載する場合はシートをかけてロープでしっかり固定するなど、走行中にゆるんだり、落下させたりしないよう注意してください。

落下物を見つけた場合は、安全な場所から道路緊急ダイヤル（#9910）に通報をお願いします。通報を受け、高速道路会社の道路管制センターが道路情報板に「落下物注意」の情報を表示するとともに、交通管理隊が落下物を回収します。

(8) 「あおり運転」は絶対にやめましょう！

前方の車に極端に接近して運転するなどのいわゆる「あおり運転」は、大変危険です。

車を運転する際は、周りの車の動きなどに注意し、安全な速度での運転を心掛け、十分な車間距離を保つとともに、無理な進路変更や追い越しは絶対にやめてください。

危険な運転者に追われるなどした場合は、SA・PA など、交通事故に遭わない安全な場所に待避するとともに、警察に 110 番で通報してください。交通ルールを守った、思いやり・ゆずり合い運転を心掛けていただきますようお願いいたします。